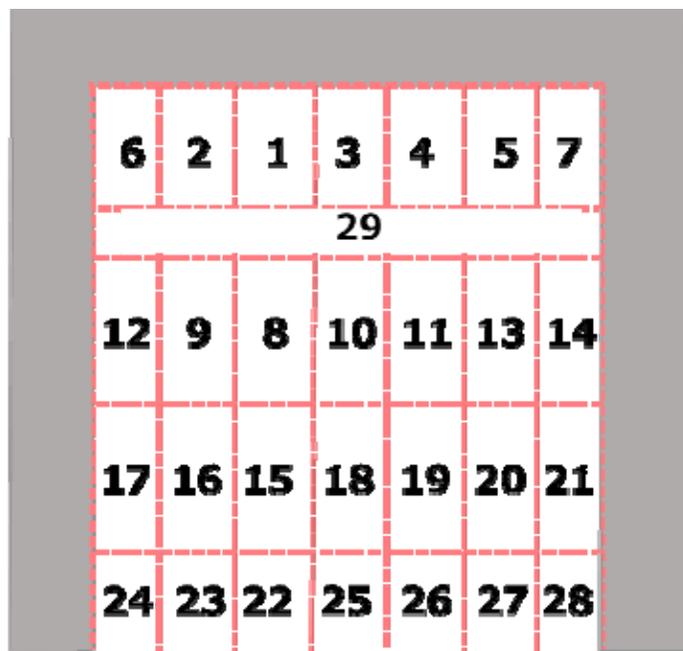


福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋西側開口部設置完了と 今後のオペレーティングフロア調査について

< 参 考 資 料 >
2 0 1 8 年 6 月 2 1 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日6月21日に、2号機原子炉建屋西側の壁全29ブロックの解体が終了し、今後のオペレーティングフロア（以下「オペフロ」）調査等の出入り口として使用する開口部の設置が完了しました。
- 5月28日から壁の解体を実施してまいりましたが、作業中における、放射性物質濃度を監視しているダストモニタや、敷地境界に設置してあるモニタリングポストに有意な変動はありませんでした。
- このたび、開口部設置が完了したことから、次なるステップとして来週6月25日以降、準備が整い次第、遠隔操作ロボット・重機等を活用したオペフロの調査を開始する予定です。



壁解体の状況（6月21日夕方時点）
全29ブロック 完了

開口部の様子（6月21日撮影）



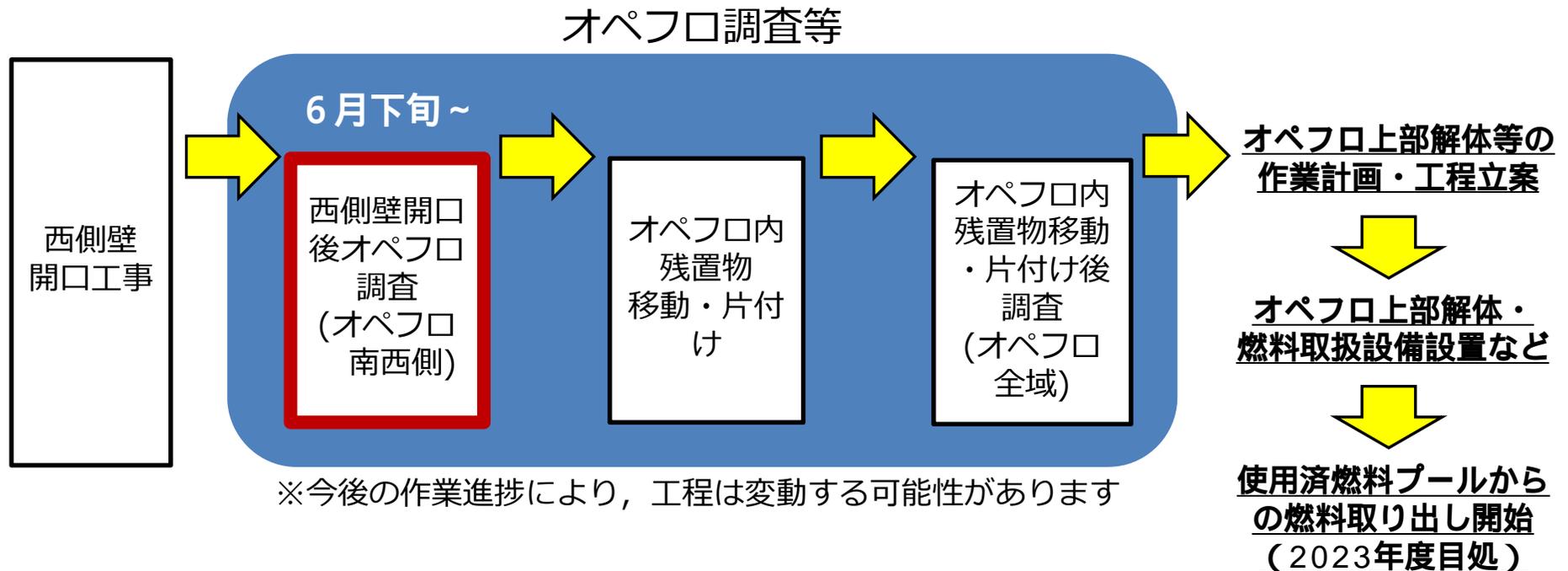
<参考：昨日6月20日の様子>



注：現場の様子が写ったモニター画面をカメラで撮影したもの

今後の2号機原子炉建屋オペフロ調査について

- 2号機では燃料取り出しに向けて原子炉建屋の上部解体等を計画しており、周辺環境や作業員に対する安全上のリスクが増加しないよう放射性物質の飛散防止策等を徹底する必要があることから、遠隔操作ロボット・重機等を使用し、オペフロ内の線量や汚染状況の調査を行います。
- これらの調査結果を踏まえ、原子炉建屋の上部解体等の作業計画、工程を立案し、解体・燃料取り出しに向けた対策を行ってまいります。



西側壁開口後オペフロ調査（6月25日以降開始予定）

【調査目的】

- 「オペフロ内残置物移動・片付」および「オペフロ内残置物移動・片付後調査」を円滑に実施するため、残置物状況の調査およびオペフロ西側壁開口近傍の線量等の調査を行います。

【主な調査内容】

- ・空間線量測定 ・ダスト測定 ・スミア測定（床・壁）
- ・カメラによる残置物等の状況調査 ・コリメート付線量計による測定（床・壁）

